

Rally Japanは2020年FIA World Rally Championshipの最終戦として 2020年11月19日(木)から22日(日)に開催されます。

COVID-19感染拡大により全世界的な困難に直面し、スポーツイベントは中止・延期となっておりますが、11月開催予定のラリージャパンは大会実現に向けて鋭意準備を進めてまいります。参加を検討されている皆様に、大会概要についてお知らせいたします。このような時期で心苦しくもありますが、ご確認ください。

開催地 ラリーHQとサービスパークは愛知県長久手市の愛・地球博記念公園(モリコロパーク)に設置されます。最寄りの中部国際空港セントレアからは58km、また、関西国際空港(228km)や羽田空港(336km)からのアクセスも良好です。

主なスケジュール

7月16日(木)	Rally Guide 1発行	11月17日(火)	レッキ① メディアセンターオープン
9月16日(水)	特別規則書発行 エントリー開始	11月18日(水)	レッキ② 公式車両検査およびシーリング
10月1日(木)	FIA燃料申し込み締切	11月19日(木)	シェイクダウン ラリーショー セレモニアルスタート
10月20日(火)	エントリー締切	11月20日(金)	競技1日目
10月22日(木)	Rally Guide 2発行	11月21日(土)	競技2日目
11月14日(土)	サービスパークオープン(プライオリティチーム)	11月22日(日)	競技3日目 パワーステージ ボディウムセレモニー&表彰式
11月16日(月)	サービスパークオープン(全競技者) ラリーオフィスオープン レッキ受付 参加受付開始		

SS距離・本数

SS総本数: 19
路面: ターマック
SS総距離: ~310 km
ラリー総距離: ~1,050 km
スペクテイターステージ: 土曜日: 岡崎中央総合公園(2本)、モリコロパーク(1本)
 日曜日: モリコロパーク(2本)

エントリー要件

国際競技ライセンスを所持しており、2020年FIA WRC競技規則第12条4項に適合した車両であること。もしくはJAF規定に適合し、第12条3項に則ってFIAに提議された車両であること。いずれの場合も、すべての車両は2020年FIA国際モータースポーツ競技規則付則J項第253条に記載された**安全基準を完全に満たしていること**。さらに2020年WRC競技規則で規定された条項や手続き(バーコードタイヤ、燃料、2020 FIA WRC規則など)を遵守していること。

2020年FIA国際モータースポーツ競技規則と2020年WRC競技規則は [FIA公式サイト](#) で公開しています

日本国内を運転する条件

海外から入国する者が日本国内で運転するためには、日本の運転免許証もしくは公道を運転するために必要な国際運転免許証を所持しなくてはなりません。国際運転免許証は1949年に締結されたジュネーブ条約に基づいて発行されたもののみが有効で、当該免許証の表紙にはその旨が明記されています。これらの運転免許証の取得が困難な場合は、オーガナイザーにお問い合わせください。

スイス、ドイツ、フランス、ベルギー、モナコ、エストニアもしくは台湾で発行された運転免許証を所持している参加者は、JAFによる当該免許証の日本語翻訳文が必要です。この翻訳文と運転免許証を同時に携行することで、ジュネーブ条約下で発行された国際運転免許証と同じ効力を持ちます。詳しくは [こちら](#) をご覧ください。

上記以外の運転免許証を所持している参加者は、各都道府県警察の運転免許センターにて日本の運転免許証への切り替え(外免切替)が必要です。外免切替の詳細は [JAF公式サイト](#) をご参照ください。

ジュネーブ条約締約国一覧はこちら ▶ [英語版](#) (JAFサイト) [日本語版](#) (警視庁サイト)

本文書内の記載内容は、2020年1月10日現在の正確な情報です。特別規則書の発行前は予告なく変更される場合があります。